

## Press Release

2018 年 7 月 13 日

# 2018 年 7 月 15 日 (日) より ベトナム航空ビジネスクラスで和食器をリニューアル ～日本-ベトナム路線で行う新たな試み～

ベトナム航空 日本支社（所在地：千代田区霞ヶ関 1-4-2 6F、日本地区総支配人：ヴー・グエン・クォイ）は、2018 年 7 月 15 日（日）より、ベトナムと日本国内の 5 空港（羽田、成田、大阪、名古屋、福岡）を結ぶベトナム航空の新型機ビジネスクラスにて、洋食器メーカーで知られる株式会社ノリタケカンパニーリミテド（本社：愛知県名古屋市西区則武新町 3-1-36、代表取締役社長：加藤博、以下 ノリタケ）の食器を和食に導入いたします。

近年ベトナム航空では、サービス品質全体の改善を続けています。機内食メニューでは、1994 年の大阪発着便就航以来、これまで和食を提供してきました。今回のノリタケの食器での機内食提供は、サービスの向上を続けるベトナム航空による新たな取り組みの 1 つです。

ノリタケのデザイン担当者は、ベトナムの文化的要素と和のスタイルの融合をコンセプトに、前菜、メインディッシュ、デザートなど、今回の和食メニューに使用する全ての食器をデザインしました。

前菜は、エレガントな半円形のプレートおよび日本の伝統的な 8 角形の青い器で提供します。メインディッシュ用の皿には、日本古来の文様をちりばめた熨斗（のし）のモチーフが使用されています。そしてデザートは、ベトナム航空が日本文化への敬意を表した、桜と菊の花びらで彩られた水色の小皿で提供します。いずれも日本の味および和のスタイルと、蓮の模様など伝統的なベトナム文化の融合を表した、洗練されたデザインとなっています。

ベトナム航空の執行副社長レ・ホン・ハーは次のように述べています。

「弊社では、継続的なサービス品質の向上に全力を注いでいます。ビジネスクラス機内食における日本とベトナムの伝統文化の融合は、味と見た目の優雅さの両方で、お客様にこれまでにないユニークな体験をご提供します。」

またベトナム航空は今年、国際的な航空会社の格付け機関であるスカイトラックス社による 3 年連続 4 つ星エアラインの認定を目指してサービスの維持・改善に尽力し、近い将来 5 つ星エアラインとなる道を着実に歩んでいます。

日本はベトナム航空の主要マーケットの1つであり、ベトナムを訪れる乗客数が最も多い5つの国の中で、過去5年間で年間12%の成長率を記録しています。2018年上半期、ベトナム-日本間を往来する全便の乗客総数は110万人で、前年同期比で14%増加しました。ベトナム航空利用者はそのうち61%を占め、前年比12%増、合計で680,000人に利用されたこととなります。

ベトナム航空は、ハノイ/ホーチミンと東京/大阪間のすべての便において、ボーイング787-9ドリームライナーとエアバスA350-900を導入しています。また現在、名古屋/福岡からの直行便と、ダナン-東京路線を結ぶ唯一の航空会社でもあります。

ますます快適で便利になるベトナム航空で、ベトナムへの旅をお楽しみください。

料理を一層引き立たせる優雅なデザイン



#### <ベトナム航空について>

ベトナム航空は、1993年4月にベトナムの国営航空会社として設立し、1995年5月27日にベトナム国内の航空企業20社が集まり、航空業務を本業とするベトナム航空が誕生しました。現在、国際線では東京、パリ、シドニーなど世界29都市に就航し、アジアを代表する航空会社の一社と位置付けられています。日本には1994年、関西国際空港とホーチミン間に初めて就航し、現在では、日本国内の4都市（東京・大阪・名古屋・福岡）と、ハノイ、ホーチミン間を結んでいるほか、成田～ダナン間でも運航しています。ベトナム航空独自の自社運航のみで、週最大70便、共同運航便を含めて週最大99便と、日本・ベトナム間を結ぶフライトでは、最も便数の多い航空会社となっています。

<https://www.vietnamairlines.com/jp/ja/home>

---

本件に関する報道関係者の皆様からのお問い合わせ先

ベトナム航空 広告宣伝部 岩田・小川

Email: [iwatan@vietnamairlines.com](mailto:iwatan@vietnamairlines.com)

電話: 03-5157-7405 FAX: 03-3508-1480